

11月22日(水) 朝礼のお話し

11月19日、「世界トイレの日」

今日はクイズです。みなさんの家の中で一番大事なところはどこでしょう？答えは間違いなく、トイレです。お風呂がなくてもなんとかなります。台所がなくても食べることには困りません。でもトイレがないと決定的に困りますね。そして、今の日本の家の中でトイレがないなんてちょっと想像もできないですね。でもこれは世界では決してあたりまえのことではないんですよ。なんと世界の3人に1人は家にトイレが無く、私たちのようなトイレを使えない生活をしているそうです。世界の3人に1人という、決して少なくないですね。

実は今週の日曜日、11月19日は国連が定めた「世界トイレの日」でした。なんで国際連合、国連がトイレの日なんてものを作ったのでしょうか？今日はそんなお話しです。この世界トイレの日が定められたのはそんなに昔のことではありません。2013年、今から10年前です。最初に話したように、今でも世界中ではトイレのない生活をしている人が9億人近くいて、そういった人達は野原や森の中、あるいは住んでいるところの近くに穴をほってうんちやおしっこをしています。そういう場所では出したものはそのままになってしまい、とても衛生的とは言えません。実際にトイレがないことによって病気、特に下痢などの症状で死んでしまう子供が世界では毎日800人もいるそうです。この学校の子供の数より多い子供が毎日、ちゃんとしたトイレが家や町にないことが原因で死んでいるわけですからこれは大変なことですね。

トイレがきちんと整っていないと他にも色々な問題が起こります。例えば、ある国の学校では1400人も子供がいるのに、トイレが2つしかないといったところもあるそうです。こういう学校ではトイレを使うのに長い時間待たなければなりませんし、トイレ自体もとても汚れてしまいます。そうすると、ちゃんとトイレに行かれないのが嫌で困るから学校に行かない、行かれないという子供がたくさんいるのだそうです。トイレがきちんとしていないことで勉強することもできなくなってしまうということです。けやき小だってトイレが使えなかったら休みにするしかありません。

国連ではこういったトイレがきちんと整えられていないことから命を無くしたり、勉強するチャンスをのがしてしまうようなことがないようにしようと「世界トイレの日」を定めて世界中の人がみんな安心してきれいなトイレを使えるようにしようと努力しています。私たち日本人はありがたいことにトイレで困ることはほとんどありませんし、皆さんもトイレのない生活なんて考えたこともないと思います。でも大きな地震が起こって水道が止まってしまったらたちまちトイレが自由に使えない生活というものが現実のものになってしまいます。ですから、せめてトイレのない暮らしというものを想像してみて、そんなことになったらどうすればいいのか、その備えをしておく必要があるかもしれませんね。

今日は「世界トイレの日」にちなんでトイレのお話しをしました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとう。今週もみんなでがんばってすてきな一週間にしましょう

そして今日のお話しに關係する本を図書室の「校長先生のおすすめ」コーナーに用意してあります。ぜひ手に取ってみてください。あなたの世界が変わりますよ。